

令和元年度 県中国研 第2回 代議員会資料

県中国研の動き・今後の展望

岐阜県小中学校教育研究会 中学校国語科研究部会 主務
大垣市立星和中学校 塚本 陽治

■ 1ーはじめに

5月に開かれた代議員会で今年度の方針について、以下の内容を示し、承認いただきました。

【令和元年度 岐阜県中学校国語科研究部会の運営方針】

【合言葉】「全国大会の成果を広げ、深める飛騨大会へ」

○研究部	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会の研究主題を継承し、その成果を広げ、深める ・県中国研と飛騨地区中国研との連携 ・学習指導要領の改訂を見据えた研究内容の見直し ・言語能力・言語活動一覧表の作成に向けた、実践の蓄積
○事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨大会の日時、会場調整 ・飛騨地区の先生方を中心とした研究体制の整備 ・8月19日（月）の夏季ゼミナールの実施 →ふるさと教育の一環としての方言の研修 ・明日の授業を考える会の企画・運営 ・「Webぎふこくご」における授業実践の情報共有 ・ぎふこくご賞の募集（論文募集）

■ 2ー令和元年度の事業の振り返り

（1）夏季研修会について

令和元年8月19日（月）に岐阜市にある「みんなの森 ぎふメディアコスモス」に於いて、夏季研修会を開催しました。今回は、岐阜市、各務原市、大垣市、恵那市、安八郡の市郡研究会が合同開催にしたこともあり、県内から役員を含め168名という多数の参加者がありました。

今回の研修会は、第三次岐阜県教育ビジョンの岐阜県教育が目指す姿の1にある、

ふるさとに誇りをもち、「清流の国ぎふ」を担う子どもたちの育成

をもとに、「岐阜で、岐阜の国語を教える私たち」をテーマに岐阜方言についての知見を深める研修会としました。

岐阜大学の山田敏弘教授を講師にお招きし、岐阜方言の成立や現在の使用について丁寧に教えていただきました。毎日の国語教室で指導する中で、気付かなかった方言の言葉や言い回し、アクセントなどが数多くあることは、言葉を教える私たちにとって意義深いものでした。また、方言の指導は、中二段階での指導になりますが、その指導に際してのポイントは、今後の指導に大いに役立つものであったと思います。

来年度は、飛騨大会を翌年度に控えることもあり、夏季研修会を飛騨地区の先生方と学びを深める会にしたいと考えます。そのため、例年統一研究日に開催していた夏季研修会は、飛騨地区の先生方のみの参加とします。これまで、各市郡の研究会を兼ねて開催していた場合は、飛騨地区以外はできませんのでご理解ください。

（2）明日の授業を考える会・コンピュータ活用研修会の開催

今年度は8月6日（火）に高山市一之宮公民館にて、また12月27日（金）には、岐阜市立長良中学校で行いました。昨年度の反省を踏まえて、参加者の先生方の移動の負担を少しでも軽減できるよう、地区を変えて開催することとなりました。

第1回目の飛騨地区での開催では、14名の参加がありました。若手の先生だけでなく、ベテランの先生も交えて、単元構想や授業の進め方、生徒の学びにつながった事例などを交流し合うことができました。飛騨地区では、令和3年度に県大会を控えていることもあり、もう一度授業づくりの基本から学ぼうという意欲の高さがうかがえました。

また、第2回目の岐阜地区の開催では、通常の授業を考える会に加え、コンピュータ活用研修会も併せて開催しました。当初計画には位置付けていませんでしたが、昨今の働き方改革の波は、うねりをあげて私たちの労働環境に変化をもたらしているのが現状です。なかなか減らない仕事量ですが、私たち

自身が時短のためのスキルアップを図る必要もあります。今回は急な案内であったため、参加者は少なかったですが、エクセルを使っての成績処理の時短術や、授業で ICT 機器を活用する場面で役立つ内容を学ぶ機会となりました。参加者の感想は以下の通りです。

●「明日の授業を考える会」参加者の声

- ・今日は、自分の二月の全研に向けて、たくさん相談させていただきました。「走れメロス」をやろうと思いつきながらも、いろいろな面で不安感があり、見通しがもっていませんでしたが、今日来て「割り切ってやる」ということに少し自信がもてました。もっと教材研究を進め、子どもたちに力が付けられるように、頑張りたいです。（西濃地区／三年目）
- ・単元の組み方や授業の組み立て方に悩んでいたが、深めの発問の立て方を教えていただき、すごく納得した。（中略）自分がどこに立ち止まらせたいかを考え、単元や授業を組み立てていきたいし、深めの発問を考えていきたい。この場で、国語の先生方とのつながりが増え、本当にありがたいです。（美濃地区／二年目）

●「コンピュータ活用研修会」参加者の声

- ・パソコン処理についてはとても疎く、本日教えていただいたことを利用すれば、今までとは格段と短縮できることばかりでした。このような機会を今後とも開いていただけたら、有難いばかりです。次回もご案内いただけたら、参加したいと思っておりますし、市内の国語科の職員にも、本日のことを伝え、参加していただけるよう働きかけたいと思っています。担当講師の先生のあたたかいご指導に感謝しております。（東濃地区／二十九年目）



（3）「来てよかった、飛驒大会！」に向けた動き

令和3年度に控えた飛驒大会に向けて、運営面でも研究面でも動き出した昨年度でした。そこで、今年度は飛驒大会に参会される先生方がどうしたら「来てよかった」と思ってもらえるかに焦点を当てて取り組む中で、2つのポイントに絞って考えてきました。

一つ目は、「飛驒地区の先生方の授業づくりを共に考えること」です。この大会の主人公は、もちろん飛驒地区の子どもたちですが、その子どもたちの学びを充実させるには飛驒地区の先生方の力が必要不可欠です。そこで、夏の「明日の授業を考える会」を飛驒地区で開催したところ、非常に多くの先生方に参加していただきました。どうやって授業をすると生きてはたらく言語能力が身に付けられるか、どのような言語活動にすると子どもたちがいきいきとした、深い学びに行き着くのか。それを共に考える機会となりました。また、飛驒地区の研究部との連携を図り、思いを一つにし、これからの大会準備に向かう機運を高めることができました。

二つ目は、「飛驒大会での売りを創り上げること」です。飛驒大会は、学習指導要領全面実施の年であり、同時に新教科書使用の初年度という大きな節目の年です。とりわけ、移行期間の現在は、どのような授業を展開していくとよやかに東奔西走し、様々な試行がなされています。その中で、全国大会で高い評価を得た「岐阜県の国語」の一提案ができるかとよいと考えます。そのキーワードは次の通りです。

- | | |
|---------------|-----------------|
| ・主体的・対話的で深い学び | ・カリキュラム・マネジメント |
| ・語彙指導 | ・情報の扱い方と ICT 活用 |
| ・考えの形成 | |

■ 3 一代議員の引継ぎについて

今年度の4月は連絡がギリギリになってしまい、代議員の先生方を混乱させてしまいました。そこで、以下の流れで進めていきます。スムーズな引継ぎと来年度のスタートが切れるようにご協力をよろしくお願ひします。

- 1 2月の代議員会で周知する
欠席の場合は、ぎふこくご配布資料に添えて配布する
加えて、欠席の代議員にメールかFAXを送信します。
- 2 代議員はどんな手続きの手順か？
来年度代議員が決定していれば、その学校名と氏名を書いて提出（2月中旬に）
来年度代議員が未定の場合、今年度代議員かその在籍校に連絡することを伝える

3 4月の連絡先をどうするか？

5月末にしか代議員名簿は出来上がらないため、上記手順で作成した仮名簿をもとにして連絡する

- A 継続代議員はそのまま
- B 新代議員が決定していれば、旧代議員（在籍校）に連絡し、確認する
- C 新代議員が未定の場合は、決定まで旧代議員（在籍校）に連絡する

■ 4ーぎふこくご賞について

例年、優れた実践を表彰し、県内に発信をしているぎふこくご賞ですが、働き方改革のうねりの中で、論文の点数が少なくなっています。そこで、この賞の在り方について、改めて役員会で検討しました。

詳細は、研究副総括提案を参照してください。

若手の先生方から、市郡の教科研等で実践された優れた指導を表彰し、県内に発信していきたいと思えます。来年度の第1回目の市郡の教科研の際に、会員の皆様にご紹介ください。よろしくお願ひします。

（参考）令和2年度以降の県大会の見通し

R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
→	飛驒	→	→	美濃	→	→	西濃	→	→

※全国大会後の令和3年度飛驒大会より、3年サイクルでの県大会開催に戻す。

■ 5—令和2年度の事業計画（案）

月	事務局				研究部	
	総務	広報	編集	会計	研推	各研究部会
4	<ul style="list-style-type: none"> ○本部役員，研究部員委嘱状発送（主務） ○代議員派遣依頼発送（総務） 研究部員派遣依頼発送（研究総括） ○県内の国語科の把握→役割分担 				研究部部長など依頼（会長） 研究部員依頼（部長）	
5	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回役員会 5月●●日（●）於）●●中学校 ◎第1回代議員会 5月●●日（●） 於）岐阜市教育研究所 ・主務—活動計画の提案 ・研究部—研究計画の提案 ・代議員—各市郡の教科研で予定している領域の研究部会に参加 				<ul style="list-style-type: none"> ○研究部総会 5月●日 研推①： 研究主題 研究計画 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ○各郡市教科研（代議員） ○夏季研修会の案内発送（主務） ○明日の授業を考える会の案内発送（総務） 				研推②： 進捗状況の確認 ☆研究部員による実践の蓄積	
7	<ul style="list-style-type: none"> ○第37回NHK杯全国中学校放送コンテスト県予選会（情報） 				研推③： 夏季研修会に向けての打ち合わせ	
8	<ul style="list-style-type: none"> ◎第1回 明日の授業を考える会 8月上旬 於）飛騨地区●●中学校 ◎夏季研修会 8月上旬 於）高山市内 会場 ○「国語の学習」改訂編集会議（編集） 					
9	<ul style="list-style-type: none"> ○「ぎふこくご」企画会（広報） 				研推④： 進捗状況の確認 ☆研究部員による実践の蓄積	
10	<ul style="list-style-type: none"> ○各郡市教科研（代議員） 					
11	<ul style="list-style-type: none"> ○「ぎふこくご」原稿依頼発送（広報） ○研究部員原稿依頼（部長） ○報告書作成（主務） 					
12	<ul style="list-style-type: none"> ◎第2回明日の授業を考える会 12月●日（●） 於）西濃地区か東濃地区●●中学校 ○「ぎふこくご賞」実践論文の提出状況確認（副総括） 				研推⑤： 今年度のまとめと来年度の方向について（実践記録受付） ☆研究部員による実践のまとめ	
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「ぎふこくご」原稿校正（広報） ○役員会派遣依頼状発送（主務） ○会計処理と監査（会計） 				☆第3回研究部会： 研究のまとめと来年度の研究計画	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回役員会 1月●日（●）於）●●中学校 ・ぎふこくご賞の決定 ・代議員会の確認 ○代議員会派遣状発送（総務） ◎第2回代議員会 2月●日（●） 於）岐阜市教育研究所 ・主務—活動計画の提案 ・研究部—研究計画の提案 ・広報—「ぎふこくご」配布 ・編集—「岐阜県版国語便覧」「漢字のとびら」「国語の学習」宣伝 ・代議員—各市郡の教科研で実施した領域の研究部会に参加 ○2021年度の役員を選出 				<ul style="list-style-type: none"> ○研究部総会 2月●日 研推⑥： 今年度のまとめと来年度の所属希望調査 	

